

日本大学 桜樹会会報

第 12 号

昭和50年6月

日本大学 桜樹会

目 次

モントリオール対策に思う 門 脇 春 男	2
総会延期措置について	3
昭和49年度事業及び行事報告	4
" 決算報告	5
競技会成績	6
第8回東日本学生選手権	
第28回全日本学生選手権	
関東学生新人戦	
第28回全日本選手権	
第6回TBS杯(日大・日体大定期戦)	
採点規則一部改正について 遠 藤 幸 雄	9
私 の 近 況 伊 藤 寛 美	10
昭和50年度体操部及び体操協会行事計画	11
" 体操部新役員	12
" 体操部新入部員	12
ゴルフコンペ成績	13
会費領収について	15
編 集 後 記	17

モントリオール対策に思う

門 脇 春 男

日本の男子体操は、1960年ローマオリンピック大会の快勝以来、1972年ミュンヘン大会までにオリンピック大会四連勝という大偉業を成し遂げた。これらの大会に当って、役員選手に選ばれたそれぞれの人達の献身的な努力と、それに対して有形無形のバックアップをしてきた協会、各クラブの関係者の後援があったからできたことであると信じているひとりである。

1980年のモスクワ大会を控え、ソビエトはモントリオール大会を首位奪還の足がかりの1歩とし、総力を挙げて策戦を練っている。恰も日本が東京大会を前にしたローマ大会時のごとく、国を挙げて、物、質共に、また選手も勝利への意欲を新たに、日本のVファイブのストップにありとあらゆる手をつかって立ち向かってくることは論をまたないであろう。

日本のスポーツ界は残念ながら最近軒並に競技力の低下に喘ぎ、嘆息しているのが実情だ。東京オリンピック時の選手強化費は国庫の補助もあってか、また国民もスポーツへの期待と関心とをもって応援してくれたが、しかし今は少し違う。競技スポーツ中心の日本体育協会およびその傘下の各競技団体への風当りは、マスコミを通じて国民の意志、意向という形でぶっつけられてきている。

それは、もっと国民のスポーツ、みんながやれるスポーツを、国民的な体力づくりを、という場合に、余暇利用のあり方から考えて、スポーツのあり方を考えねばならなくなってきた。

日本体育協会への国庫補助は年々多くはなっているけれども、各競技団体への競技力向上のための費用は少なくなっている。各競技団体は自前で選手の強化費を捻出さなくてはならなくなったのである。体操協会もその例にもれず、底辺拡充費として各都道府県協会への補助金、ブロック助成金、中学生大会、ジュニア大会への補助金等々、従来と形を変えた支出面でのことを考えねばならなくなった。そうかといって競技スポーツとしての体操協会の方向は一分の狂いがあるてはならないことで、この万の予算をけずることはとてもできないというのが実状である。

体操日本は、世界の王座にあるからこそ時代の流れに相応した対策が講ぜられて今日まできたのである。

モントリオール・オリンピック大会は、明年の7月16日からだが、日本の体操はこれを目指して鋭意努力している。その担い手は、わが桜樹会の早田君であり、そして現役の梶山広司君であるのだ。この日大グループが日本の中核になったときこそ日本の勝利なのである。

早田君は、ナショナルチームの強化合宿の責任者として今年からスタートした。彼のやりいようにみんなでフォローアップし、モントリ

オールでの勝利を実現させようではないか。

1975. 5. 1 記

総会延期措置について

総 務

昭和49年度会員総会は、すでに3月10日付でご連絡の通り、諸般の事情により延期せざるをえませんでした。

会則によれば、毎年3月第3日曜日に開催する、とされておりますが、別掲参考資料が示すとおり、総会出席者数は、45年度をピークにして減少の傾向にあります。

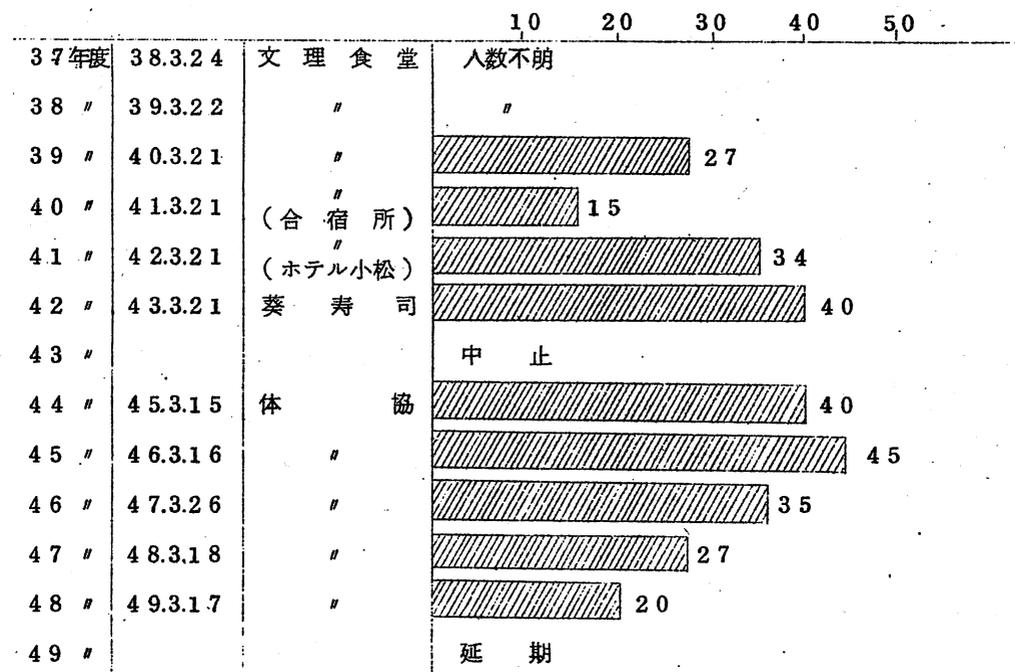
3月末に会期が選ばれたのは、会員の大半が教職にあるため、この時期ならば比較的時間的余裕もあり、出席率もいだろうとの理由からでした。ところが、最近では教職以外の道に進む人も多く、その人達にとっては年度末は多忙

な時期であり、また教職にあっても、年令的に責任ある地位につく人も多くなり、春休みが必ずしも時間的余裕のある時期ではなくなり、つあるように思われます。

幹事会でもこの点が論議され、結局49年度総会は、とりあえず夏季まで延期するとの結論に達しました。その後幹事会が開催されておりませんので、今回その期日についてお知らせすることはできませんが、なるべく早急に時期を決定し、連絡いたしたいと思っております。皆様のご理解をおねがいする次第です。

会員総会出席者数推移

(参考資料)



昭和49年度 事業及び行事報告

- | | |
|---|---|
| <p>1. 会報の発行 第11号 49.5</p> <p>2. 会員名簿の発行 49.5</p> <p>3. 親睦会の開催</p> <p>(1) 各種大会地における親睦会</p> <p>東日本インカレ (桐生市)</p> <p>全日本インカレ (名古屋市)</p> <p>国体 (水戸市)</p> <p>全日本 (岡山市)</p> | <p>(2) 第11回忘年会
東京・新小岩 参加15名</p> <p>(3) ゴルフコンペ</p> <p>第9回 49.4.26 (戸田CC) 参加10名</p> <p>第10回 49.6.21 (厚木CC) 参加13名</p> <p>第11回 49.11.29 (競売P) 参加16名</p> <p>第12回 50.3.3 (東京国際CC) 参加14名</p> <p>4. 第5回桜樹スキースクール開催
49.1.3~5 (志賀高原) 参加7名</p> |
|---|---|

昭和49年度 決算報告

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	5,699	
会費	289,000	過年度分62,000 49年度分198,000 50年度分29,000
雑収入	11,592	懇親会余剰金等
合計	306,291	

支出の部

項目	金額	備考
補助費	33,000	I. C補助 I. C 2連勝祝勝会補助等
会議費	2,583	幹事会室代等
事務通信費	17,785	会報第11号, 名簿送料, 切手, はがき代等
印刷費	5,500	総会延期通知
雑費	7,680	口座手数料, 事務用品代等
競技部	0	
審判部	0	
指導部	0	
編集部	78,210	会報第11号, 名簿印刷製本代
予備費	3,290	病気見舞, 祝電等
次年度繰越金	158,243	
合計	306,291	

昭和49年度収支決算を以上の通り報告いたします。

昭和50年3月10日

日本大学桜樹会総務
菊地君男
鶴見興人

監査の結果, 相違なきことを確認する。

昭和50年3月10日

日本大学桜樹会会計監査
堀田淳二
芳尾明

競 技 会 成 績

第 8 回 東 日 本 学 生 選 手 権

4 9. 6. 1 4 ~ 1 6 桐 生 市

(男子)

団体総合	優勝	276.55
個人総合	1位	梶山 広司 56.50
	5位	錦井 利臣 55.20
種目別 床	1位	錦井 利臣 9.70
	2位	梶山 広司 9.65
	4位	鈴木 一弘 9.45
	6位	前山真一郎 9.30
あん馬	1位	梶山 広司 9.55
つり輪	1位	梶山 広司 9.60
跳馬	5位	西巻 洋一 9.30
平行棒	2位	錦井 利臣 9.30
	"	梶山 広司 9.30
	6位	前山真一郎 9.25
鉄棒	3位	寺元 良人 9.35
	"	梶山 広司 9.35

(女子)

団体総合	2位	175.85
個人総合	1位	林田 房美 37.35
種目別 床	3位	林田 房美 9.20
跳馬	1位	林田 房美 9.20
平行棒	1位	林田 房美 9.50
平均台	1位	林田 房美 9.45
	3位	山本 恭子 9.15
	4位	山宮登美枝 9.10

第 2 8 回 全 日 本 学 生 選 手 権

4 9. 8. 8 ~ 1 1 名 古 屋

(男子)

団体総合	優勝	557.80
個人総合	1位	梶山 広司 114.10
	2位	錦井 利臣 112.45
	4位	寺元 良人 111.05
	6位	前山真一郎 110.15
	10位	西巻 洋一 109.45
	16位	川野 耕二 108.20
種目別 床	1位	錦井 利臣 19.323

(女子)

団体総合	3位	349.40
個人総合	2位	林田 房美 74.50
	14位	山本 恭子 69.55
	17位	小田 武子 69.20
種目別 床	3位	林田 房美 18.850
跳馬	2位	林田 房美 18.325
平行棒	1位	林田 房美 18.775
平均台	2位	林田 房美 18.150

	2位	千田 修平	18.600
	3位	梶山 広司	18.375
あん馬	1位	梶山 広司	18.825
つり輪	1位	梶山 広司	18.800
	2位	錦井 利臣	18.525
跳馬	1位	梶山 広司	18.750
	2位	錦井 利臣	18.500
	6位	前山真一郎	18.075
平行棒	1位	梶山 広司	18.525
	3位	寺元 良人	18.025
	4位	前山真一郎	17.850
	6位	錦井 利臣	17.300
鉄棒	1位	梶山 広司	19.000
	4位	寺元 良人	18.325
	6位	錦井 利臣	18.150

関東学生新人戦

4 9.1 0.1 1 ~ 1 2 駒 沢

(男子)

(女子)

団体総合	優勝		27.285
個人総合	3位	金居 俊郎	55.05
	5位	境 保則	54.80
	6位	松本 俊一	54.55
種目別 床	2位	松本 俊一	9.45
あん馬	1位	金居 俊郎	9.25
つり輪	3位	境 保則	9.20
鉄棒	2位	松本 俊一	9.50
		境 保則	9.50

団体総合	2位		17.235
個人総合	1位	伊藤三千子	35.50
	4位	今井久美子	35.25
種目別 床	3位	今井久美子	9.05
平行棒	1位	西村久美子	9.05
	2位	今井久美子	9.00
	3位	伊藤三千子	8.80
平均台	1位	伊藤三千子	9.20

第 28 回 全日本選手権

4.9.1.1.2.2~24 岡山

(男子)

団体総合	第2位	5 4 6.2 0	
個人総合	2位	梶山 広司	113.65
	10位	錦井 利臣	109.45
種目別 床	2位	梶山 広司	19.050
	4位	錦井 利臣	18.700
	5位	千田 修平	18.225
あん馬	3位	梶山 広司	18.900
つり輪	1位	梶山 広司	19.150
跳馬	3位	梶山 広司	18.925
	4位	錦井 利臣	18.650
平行棒	3位	梶山 広司	19.100
鉄棒	4位	梶山 広司	19.025

(女子)

団体総合	第2位	3 5 4.0 5	
個人総合	2位	山崎 信恵 (旧姓矢部)	74.35
	3位	林田 房美	74.05
種目別 床	2位	林田 房美	18.775
	3位	山崎 信恵	18.600
跳馬	2位	山崎 信恵	18.625
	4位	林田 房美	18.500
平行棒	1位	林田 房美	18.750
	4位	山崎 信恵	18.425
平均台	2位	林田 房美	18.450
	4位	山崎 信恵	18.325

第 6 回 T B S 杯

対日体大定期戦

5.0.4.1.2 東京体育館

(男子)

団体総合	優勝	3 2 1.2 7 5	
種目別 床	1位	鈴木 一弘	9.3 5
	2位	前山真一郎	9.3 0
	"	千田 修平	9.3 0
あん馬	2位	岡崎 恭児	9.0 5
	3位	鈴木 一弘	8.9 0
つり輪	1位	前山真一郎	9.3 0
跳馬	2位	鈴木 一弘	9.2 5
	3位	千田 修平	9.2 0
平行棒	2位	松田 洋	9.2 0
鉄棒	2位	松山 禎一	9.4 5
	3位	境 保則	9.3 0

(女子)

団体総合	第2位	2 0 3.9 0	
種目別 跳馬	2位	内田 俊子	9.0 0
	"	萩原美和子	9.0 0

採点規則一部改正について

遠藤 幸雄

異常ともいえるほど受験生の多かった今年度の入試も終了し、4月20日現在、新入生男子21名、女子13名を加えた練習が始まっています。

一方、年度はじめの対日体大との定期戦も、去る4月12日、東京体育館で行なわれ、男子は、主将梶山君を海外遠征のため欠いたとはいえ、2連勝できたことは参加選手に自信をつけたことと確信しています。

さて、採点規則の一部が改正されましたので、本年より採用される主な点についてお知らせしておきます。

※13条 1.a) b)

ゆか、あん馬を除く4種目(つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)において、競技I、II、III、とも補助者が許される。

※17条 3.

難度3.4 構成1.6 実施4.4 加点要素0.6

※減点緩和と加点要素

競技I、II、III、とも減点緩和は認めず、加点要素0.6だけとする。

跳馬については、競技I、II、III、に対して加点要素0.4が与えられる。規定においては価値点が9.8であり加点要素0.2が与えられる。

※37条 5. a) b)

すべての静止時間は2秒である。

※37条 9. b)

逆交差の場合、支持腕の中間まで腰があがればよい。

※38条 5. b)

手を放す、放さないに関係なくすべて0.5の減点となる。

※51条 1.

馬体は、真中に幅10mmの白線を入れ、2つの着手範囲に区分される。

※52条

馬首着手、馬尾着手も、第1局面における体線は、少なくとも水平が要求される。

※56条 2.5.

前方屈身倒立回転とび(屈身のおそいもの)を取り除く。

※58条

跳馬の種類II(側転とび系)の演技で、馬尾に着手したものは認めない。

私の近況

伊藤寛美

(旧性佐久間 4 3.3 体育学科卒)

卒業以来、会報はいただくばかりでございますが、担当各位の皆様のお骨折りには大変感謝いたしております。会報を手にして、先輩諸氏の方々を始め、皆様方を思い出しては懐しく拝見いたしておりますし、現役の方の活躍ぶりなども手にとるようにわかりますので、次号が出るのを楽しみにしているひとりでございます。

郷里宇都宮を離れ、群馬の地に嫁いで3年目になります。現在、5月に満2才になる娘(理恵)の母親として、家事専念とはいきませんが大泉というところに親子3人水入らずで住んでおります。すぐ近くには利根川が流れており、土手からのながめは誠に雄大で、一口には表現できないほどのすばらしい環境でございます。そして、なんといっても、子供と野原を駆けめぐることのできるような環境に住んでいるということが、私ども親子にとりまして最大の喜びでございます。

ところで、あまり家事に専念できないといいますのは、家の中にとじこもっていることがどうしても性にあわず、クラブ指導をお手伝いしてみたり、短大の体育の授業を担当してみたり、出あるくことが多い毎日だからでございます。子供を他人様にあずけてまでも、好きな道から離れることができません。

過日行なわれましたTBS杯、日体大との定

期戦でも、審判(これまで第4.5.6回)などでお手伝いできましたことを大変うれしく思っております。そして、このような機会に、先輩の方々の活躍の姿を見たり聞いたりすることにより私自身奮起いたしているような次第です。今年もいよいよシーズンに入りますが、現役の方々は昨年以上の活躍をされるものと期待いたしております。

末筆ではございますが、会員の皆様方のご健康をお祈りいたしまして、短文ではございますが、私の近況報告とさせていただきます。

昭和50年度 体育部および体操協会行事計画

指 導 部

3.7~13	春季合宿	(三島)	8.14~17	インターカレッジ	(東京)
3.28~29	日独戦	(ライブチヒ市)	17~18	全国中学校大会	(名古屋)
	早田, 梶山		20~26	日韓高校	(ソウルまたはプサン)
4.4~5	モスコ-・ニュース杯	(モスコ-市)	29	国際女子ジュニア大会	(東京)
	早田, 梶山		9.14	全日本ジュニア大会	(武生)
8~10	第5回 リガ大会	(リガ市)	23~24	1種審判講習会	(女子)
	早田, 梶山		10.4~5	1種審判講習会	(男子)
4.12	第6回TBS杯	(東京体育館)	10.10~12	全日本選手権大会	(長野)
5.4	新入生歓迎会	(多摩動物園)	26~31	国体	(四日市)
6.14~15	NHK杯	(八王子体育館)	11.15~16	中日カップ	(名古屋)
21~22	東日本インカレ	(弘前市民体育館)	22~24	日ソ対抗	
7.29~31	ブレ・オリンピック		25~26	国際審判員講習会	(女子)
	林田	(モントリオール)	12.12~14	国際審判員講習会	(男子)
8.5~8	インターハイ	(東京)	2.8	体操競技委員会総会	

昭和50年度 体操部新役員

部 長 浜田 靖一	主 務 寛山 秀成(文4年)
副 部 長 門脇 春男	副 主 務 中島 節子(#)
監 督 速藤 幸雄	学 連 増子 良行(#)
コ - チ 早田 卓次, 木村 多喜	青木 久実(#)
” 五十嵐健夫	久保田一行(文3年)
男子主将 梶山 広司(文4年)	三原加津子(#)
副将 前山真一郎(#)	高橋 和秀(文2年)
女子主将 宮本 敏子(#)	西村久美子(#)

昭和50年度 新 入 部 員

氏 名	出身県	高 校	氏 名	出身県	高 校
瀬戸 伸一	宮 城	仙台育英高校	坪田真由美	福 井	武生高校
井上 祐二	茨 城	土浦日大高校	内田 俊子	福 井	鯖江高校
小口 盛	茨 城	土浦日大高校	吉野こづえ	群 馬	二階堂高校
後閑 文昌	群 馬	高崎工業高校	伊藤 昭代	千 葉	習志野高校
大塚 一夫	群 馬	高崎工業高校	山本富士子	兵 庫	四天王寺高校
原田 一高	福 岡	柳川商業高校	角木しのぶ	兵 庫	葺合高校
松下 直人	岡 山	洛南高校	市丸 佳子	神奈川	新宿高校
岡崎 高典	大 阪	清風高校	中村 恭子	宮 城	第一女子高校
慶田 盛定	沖 縄	興南高校	飯富 史子	岩 手	盛岡市立高校
仲内 尚志	京 都	東山高校	宇木久美子	茨 城	鉾田第二高校
朝比奈昭夫	鳥 取	米子北高校	森 俊子	富 山	富山商業高校
高橋 博美	秋 田	秋田工業高校	西本 直子	広 島	三原東高校
杉沼 誠	秋 田	秋田工業高校	久野 京子	佐 賀	鳥栖高校
鬼沢無二夫	秋 田	大館鳳鳴高校			

田淵 正晴 埼玉 豊山高校
 山崎 常雄 埼玉 日大一高
 竹内 雅明 千葉 八千代高校
 垂石 守 山形 山形日大高校
 加藤 博章 東京 日大三高
 渡辺 嘉三 東京 豊山高校
 三城 一彦 東京 日大三高

男子 21名 女子 13名

ゴルフコンペ成績

第10回 49.6.21 厚木カントリー

Name	in	Out	in	Gross	Hdep	Net	Rank
菊地	44	44	45	133	19.5	112.5	7
阿部※	43	49	45	137	13.5	123.5	1.2
高石※	44	43	47	134	27.0	107.0	3
高田	45	41	44	130	22.5	107.5	4
稲橋	42	48	55	145	30.0	115.0	9
平川	53	58	58	169	54.0	115.0	10
吉川	50	43	41	134	25.5	108.5	5
津村	42	51	45	138	21.0	117.0	11
堀内※	41	45	40	126	22.5	103.5	2
山崎※	44	40	43	127	24.0	103.0	1
山中	38	41	35	114	1.5	112.5	8
早乙女	58	61	73	192	54.0	138.0	13
鶴見	44	49	52	145	33.0	112.0	6

※印は会員外参加者

優勝 山崎 (商学部) N. P 阿部, 山中
 準優勝 堀内 (") B. G 山中
 第3位 高石 (理工学部) B. B 阿部
 D. C 堀内, 津村

第 1 1 回

4 9 . 1 1 . 2 9 読 売 パ ブ リ ッ ク

Name	Out	in	Gross	Hdcp	Net	Rank
津 村	4 2	4 3	8 5	1 4	7 1	1
佐 藤※	5 0	4 6	9 6	2 8	6 8	2
秋 山※	5 3	5 2	1 0 5	3 6	6 9	3
近 藤※	4 6	4 0	8 6	1 5	7 1	4
稻 橋	4 6	4 6	9 2	2 0	7 2	5
堀 内	4 0	4 1	8 1	9	7 2	6
岩 本	4 9	5 6	1 0 5	3 0	7 5	7
吉 川	4 7	4 6	9 3	1 7	7 6	8
山 崎	4 2	4 5	8 7	1 0	7 7	9
山 中	3 9	4 2	8 1	1	8 0	1 0
高 石※	4 7	5 0	9 7	1 6	8 1	1 1
工 藤	5 9	5 5	1 1 4	3 2	8 2	1 2
阿 部※	4 4	4 8	9 2	9	8 3	1 3
鶴 見	5 6	5 3	1 0 9	2 2	8 8	1 4
早 田	5 5	4 9	1 0 4	1 6	8 8	1 5
高 波	7 0	6 9	1 3 9	3 6	1 0 3	1 6

優 勝	津 村	D . C	山 中
準優勝	佐 藤※	N . P	高 石※
第 3 位	秋 山※	B . G	堀 内※
		B . B	早 田

第 1 2 回

5 Q. 3. 3 東京国際カントリー

Name	Out	in	Out	Gross	Hdep	Net	Rank
門 脇	47	49	54	150	24	126	6
津 村	47	45	51	143	13.5	129.5	7
岩 本	58	53	65	176	45	131	9
高 波	76	66	72	214	54	160	13
近 藤	45	41	49	135	21	115	3
井 上	63	61	52	176	45	131	10
大 倉	83	64	62	209	54	155	12
堀 内	42	46	46	134	13.5	120.5	4
吉 川	54	47	48	149	24.5	124.5	5
橋 口	57	50	48	155	45	110	1
箱 根	56	62	64	182	48	134	11
高 田	44	45	46	135	22.5	112.5	2
早 田	52	52	49	153	24	129	8
早乙女	81	65	73	219	54	165	14

優勝 橋 口 D. C 箱 根, 津 村 B. B 高 波
 準優勝 高 田 N. P 箱 根, 堀 内
 第3位 近 藤

会費領収について

総 務

昭和49年5月1日以降, 昭和50年5月20日までの納入状況は次の通りです。

(現金にて)

49.6/10	橋 口 泰 武	2,000	6/21	早乙女 貞 夫	10,000
6/14	工 藤 昌 二	4,000	7/8	朝 倉 徳 雄	2,000
6/20	早 川 尙 夫	2,000	7/15	今 村 悟	2,000

9/19 梅崎捷也 10,000
 木村多喜 2,000
 12/25 菊地君男 2,000
 50.1/12 松本恭子 4,500
 1/25 三田久 10,000
 2/15 寺元良人 2,000
 錦井利臣 2,000
 鈴木良之 2,000
 西卷洋一 2,000
 河野和弘 2,000
 椎名厚 2,000
 畑野芳喜 2,000

(口座にて)

49.6/4 辻誌朗 2,000
 高波司雄 3,500
 安田和明 2,000
 6/6 金子正史 4,500
 近藤明 2,000
 6/8 海谷美代子 2,000
 中谷秀明 2,000
 6/10 五十嵐健夫 2,000
 小柴守夫 2,000
 6/11 浅田泰男 3,500
 森山理 2,000
 6/14 春山文子 2,000
 楠谷宗敬 4,000
 松田明 2,000
 6/17 印官亨 2,000
 6/19 芳尾明 2,000
 武田和子 2,000
 戸沢滋 2,000

2/15 矢野龍治 2,000
 林田房美 2,000
 小谷幸子 2,000
 杉村久子 2,000
 平島宗子 2,000
 渡辺和子 2,000
 3/10 外山宜男 2,000
 上野剛 4,000
 門脇隆 2,000
 堀田淳二 2,000
 稻橋恒行 2,000

6/19 坂田安世 2,000
 平野文世 3,000
 村上吉正 2,000
 6/21 小松武雄 2,000
 松本恭子 2,000
 川口幸彦 2,000
 島崎康行 3,000
 波多野伸 2,000
 過足重六 2,000
 6/24 官川早苗 2,000
 佐藤誠 2,000
 安藤泰行 2,000
 土屋史郎 1,000
 6/25 山村英子 2,000
 舟山忠広 2,000
 松岡範孝 2,000
 6/27 中原剛 2,000
 相原和明 2,000

6/27	宇野正信	2,000	8/16	石毛誠	2,000
6/29	宮川聖子	2,000	8/28	佐々木巖	2,000
7/1	山内悟	3,500	8/29	椎名昇	2,000
7/4	常木節子	2,000	9/11	佐藤勲	2,000
7/5	保坂弘一	2,000	10/16	岩沢稔	2,000
	大塚文夫	2,000	11/1	諸岡嘉春	2,000
7/8	赤上もと子	3,000	11/29	伊藤勇	2,000
7/15	堀田信二	3,000	12/3	伊藤寛美	2,000
	船木政明	2,000	12/16	吉田義則	8,000
7/16	岡本公子	2,000	12/18	高田信興	3,000
	朝倉康雄	2,000	12/19	鈴木康夫	2,000
8/7	千野良一	4,500	50.2/6	酒井博行	3,000

編 集 後 記

昨年5月、皆様のお宅に歓迎せざる通知が舞い込んだはずである。会費納入状況を知らせる一片の用紙である。

その効果がどうかは別にして(多分大いにあると思われるが)、49年度の会費納入率は近年になく高率であった。(289,000)それに加えて、会報前号(16~17頁)で述べたような理由から、会報の発行を年1回にとどめ、50年度への繰越しは約160,000円に

達した。脱自転車練習を目指してあの手この手という感じだが、とにかく当分の間倒れずに前進できそうである。

本年度29名の新入会員を迎えて、会員総数322名(内45名準会員扱い)の大きな世帯になり、しかも現役はインカレ2連勝を達成して名実ともに学生の王座についたのであるから、わが桜樹会もせめて“原付”ぐらいに進歩したいものである。